

千葉 成田山新勝寺

JRはちと高い。ちと高いが、京成にはグリーン車が無い。気分よく旅をしたいから、JR特急のグリーン車で行こうと思う。帰りは帰るための移動でしか無いから、京成の普通列車で帰ればいい。

成田山新勝寺



成田山新勝寺

成田山新勝寺は九四〇年に寛朝大僧正によつて開山された真言宗の寺院です。本尊は弘法大師空海が自ら開眼供養をした不動明王です。大きな総門を通り、仁王門を通過すると両側に小さな池があり、亀の形をした岩があります。その背にうまく硬貨を乗せられると願いが叶うという噂があり、マス研員もチャレンジしました。成功者は出ませんでした。意外と難しい。非常に急な階段を上ると大本堂が見えます。建物自体は質素ですが大きく、迫力があります。



成田山公園

銅像や句碑が点々とする山道を抜けると、東京ドーム約3.5個分の広さを持つ成田山公園が広がります。参道の雰囲気とは打って変わって、自然に取り囲まれた池を色とりどりの鯉が泳ぐ静かな空間です。池のふちに立っていると、餌を求める鯉たちがやってきます。浮御堂と呼ばれる東屋で、庭を眺めながら一休み。ゆったりとした時間の流れを楽しむことが出来ます。そばにある成田山書道美術館や平和の大塔も見どころです。

名物 うな重



寺を出て駅の方向に少し進むと、美味しいうな重の匂いが香りました。大通りの左手に、川豊という鰻屋さんがありました。

テレビで取り上げられたこともあります。整理券が配布されるため、好きな場所で待つことができました。うな重はタレがとてもよくご飯によく合う絶品でした。入り口では、店員さんが鰻を捌いており、なかなか見ることのできない貴重なものを見ることができました。



抹茶スイーツ

寺を見て回ったあと、帰り路、少し坂を上ったあたりで感じた鼻に抜けるお抹茶の香りは、茶和々というお店からのものです。抹茶を使用したドリンクやスイーツなどのメニューの中から、私はお濃茶わらびアイスを注文。口に入れた瞬間にお茶の香りが口いっぱいに広がり、追うように独特的の苦味がやって来ます。抹茶好きにはたまらない感覚です。店内にはお土産も充実しています。旅の締めに寄つてみてはいかがでしょうか。



マス研員はそこで各々願い事を済ませた後、おみくじを引きました。最後に売店では、何かとお金を使う大学生活のために金運アップのお守りを購入しました。